

春の防災訓練

喜多見北部町会 ～「共助」の防災訓練～

右の黄色いタオルを見かけたことはありますか？
これは喜多見北部町会が行っている大震災発生時の
安否確認訓練です！その取り組みを取材しました。

2021年、成城自治会が熱心に取り組んでいる「安否確
認標識を使った訓練」を教えていただき、喜多見北部町会
でもできる形にしてチャレンジしようと話し合いました。

2022年、エリアごとに4回の試行訓練と町会員からのアン
ケート回答分析を行ったところ、思った以上の高評価と継続を
望む声が寄せられ、2023年に全域での「安否確認タオル」
を活用した訓練を行うことができました。

訓練は、大地震発生を想定。家族の無事と家の中の安全を確
認、この黄色いタオルを外から見えやすいところに掲示し、周りの方と
声を掛け合います。その後は、各家庭できる範囲で備蓄品のチェック
や耐震対策などを話し合う「防災力を高める日」として過ごし、在宅
避難体験などの感想やご意見をいただいています。



駅前での防災訓練は10年ぶり！

2024年3月訓練では、「喜多見駅前広場での防災訓
練」も併せて開催。野川ドッグエリアの会による「ワンちゃん
の防災コーナー」のほか、消火訓練、煙中テント、トイレ
や備蓄品の展示と説明コーナーを設けたところ、便利な
ものや使いやすいものを実際に見て手でさわり、役立つ情
報を気楽に聞き合う機会となり、多くの方に喜んでいただ
きました。

喜多見西部町会 ～防災訓練～

3月10日、滝下橋緑道中央広場にて行いました。
炊き出し訓練と放水訓練、煙中避難、初期消火、救命救護
(AED)の各訓練と、防災用品の展示を行いました。



上は炊き出し訓練。以前はご飯を炊き、カレー
も作っていましたが、今は釜でお湯を沸かしてアル
ファ化米を作り、レトルトカレーと一緒に配布してい
ます。当日は、お湯を沸かした後、甘酒を温めて
無料配布しました。

左は、スタンドパイプとD型ポンプの操作方法を
見学。実際に参加者に操作体験をしてもらい、順
番に放水訓練をしました。子どもたちも楽しんで放
水していました。



会員全世帯に事前に配布
された防災ポーチ



のがわ

第107号
2024年7月発行
発行者 編集委員会
事務局 喜多見
まちづくりセンター
03-3417-3401

<管内データ>
2024年6月1日現在
人口 33,334人
(前号比 92人増)
男:16,463人
女:16,871人
世帯数:16,169世帯
(前号比 143世帯増)

ご協力ありがとうございました。
☆古着・古布リサイクル回収量
5月12日実施 14,320kg
次回は11月17日(日)の予定です。

「ミニコミ紙のがわ」
は、こちらからも
ご覧いただけます。



●人事異動●

まちづくりセンター職員

所長

(転出) 宮戸 達彦
成城まちづくりセンター所長へ

(転入) 真中 高志
(前) 環境政策部 エネルギー施策推進課
事業担当係長

職員

(転出) 會田 楽空 財務部 納税課へ
(転入) 内田 達也 新規採用

非常勤職員

(転出) 小川 典子 上祖師谷まちづくりセンターへ
(転出) 下鶴利恵子 祖師谷まちづくりセンターへ
(転入) 中川稚佐世 新規採用



(敬称略)

第11回

宇奈根の渡し

5月19日(日)、喜多見児童館主催の「宇奈根
の渡し」が開催されました。子ども実行委員が
棹さしに挑戦し、およそ
80人が乗船しました。



▲第1回からの記録パネル。
この11年で、川の雰囲気も変
わっているのがよくわかります

夏の主な行事		お問い合わせ先 喜多見まちづくりセンター ☎ 03-3417-3401	
主 催	行 事	日 時	場 所 等
喜多見北部町会	災害時「共助」の防災訓練	9月29日(日)	町会全域
喜多見西部町会	夏まつり	8月31日(土) 15時30分～19時	滝下橋緑道中央広場
喜多見中部町会	夏休み子どもまつり	7月27日(土) 15時～17時	喜多見中学校中庭
喜多見東部町会	夏休み子ども会	7月20日(土)	須賀神社境内
喜多見上部自治会	砵つ子夏祭り(実行委員会と共催)	7月20日(土) 15時～	砵小学校
	夏休み締めくくり子ども会	8月25日(日) 16時～	砵小学校校庭(雨天時は体育館)
喜多見2丁目団地自治会	団地まつり	9月21日(土)、22日(日) 15時～	団地ローラー公園
	防災訓練	10月6日(日)	団地ローラー公園
宇奈根町会	盆踊り大会	7月27日(土)、28日(日)	宇奈根氷川神社境内
	防災訓練	9月8日(日) 9時～	宇奈根氷川神社境内
鎌田協和会	鎌田納涼盆踊り大会	7月27日(土) 18時30分～	鎌田天神社境内
鎌田南睦会	自転車乗り方教室・すいか割り大会 (砵南小 PTA 校外委員共催)	7月14日(日) 9時～12時	鎌田区民集会所
	納涼盆踊り	7月27日(土)	ゆうぽうとレクセンター駐車場
	夜間パトロール	8月10日(土)、20日(火)	鎌田2丁目南公園集合
	防災訓練	9月29日(日) 9時～12時	東京都市大学グラウンド駐車場
お祭り	須賀神社祭礼	8月1日(木)、2日(金)	湯花神事
	鎌田天神社祭礼	10月13日(日)	御神輿巡行
	宇奈根氷川神社祭礼	10月14日(月・祝)	御神輿巡行
	喜多見氷川神社祭礼	10月20日(日)	御神輿巡行
喜多見商店街振興組合	喜多見商店街盆踊り大会	7月27日(土)、28日(日)	喜多見駅前広場
世田谷区 区民まつり実行委員会	せたがやふるさと区民まつり	8月3日(土)、4日(日)	JRA馬事公苑 けやき広場 東京農業大学「食と農」の博物館
青少年喜多見地区委員会	(仮)多摩川であそぼう	9月28日(土)(雨天中止)	二子玉川緑地ピクニック広場
世田谷区 たまがわ花火大会実行委員会	世田谷区たまがわ花火大会 多摩川クリーン作戦	10月5日(土)(荒天中止) 10月6日(日)(荒天中止)	二子玉川緑地運動場
喜多見地区 区民まつり実行委員会	喜多見地区区民まつり	11月3日(日・祝)(荒天中止)	喜多見小学校

編集委員会
編集長 荒川真佐子
副編集長 鈴木 好子
森谷みどり
編集委員 志賀 順子
石倉 靖久
山本 浩美
佐藤 壽夫
海老沢リサ
高階 有香
青木 恵子

昨年9月に15歳のメス猫「くらら」が旅
立った。後に残ったオスの「しんのすけ」は
小笠原諸島の世界遺産登録を目指し、島
有の野鳥を保護するために捕獲された野生
児である。おとなしくて優しい子なのだが、
さすが野生児、なかなか人に慣れず、飼い始
めて10年でもうやく抱っこができるまで
になった。

「くらら」を亡くした淋しさからか、私た
ち夫婦とコミュニケーションを取るようにな
り、この冬、私の膝の上で初めて「コロコロ
喉を鳴らした時の感激といったら！
二人と一匹の生活が落ち着いてきた先
日、獣医の先生から「捨て猫があった」と連
絡がきた。夫が勝手に頼んでいたらしい。
会いに行くと、生後1
か月のメスの子猫である。
抱っこをするとききなり
私の身体を駆け上がり肩乗りの猫と
なった。「しんのすけ」に会わせてもビビら
ない。とりあえずお試しで預かってきた。
子猫を育てるのは25年ぶり。ミャーミャ
ー大声で鳴き続け、1日4回の餌やり。高齢
猫とのんびり暮らす日々は激変した。
介護タクシーと外出支援の経営もスタッ
フが増え、事務や会議に追われて家庭も自
分の時間も後回しにしてきた私たちに、こ
の子は何かをもたらししてくれるのかな。



森谷

編集後記

潜入！東京外かく環状道路 東名側本線シールドトンネル工事現場



不定期で行われている外環道トンネル現場視察会、のがわ編集委員は、このたび1年ぶりに行われるという耳より情報をキャッチした。5年前、初めての視察会に参加させていただいた以来である。これは行くしかない！と、編集委員はすぐさま立った。

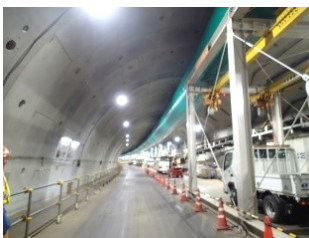
視察会当日の6月8日、視察会参加者はまず工事の状況や今後の予定を模型やパネルを見学し、ひととおり説明を聞いたあと、野川の上を渡る工事関係者専用の歩道橋を通り工事現場へ向かう。歩道橋の高いところから眺めると、改めてこの工事の巨大さに圧倒される。

セグメントというトンネル外壁が積みあがっているストックヤードもあり。ひとつが10トンもあるというセグメントを一体どうやって地下50mまで運んでいくのだろうか!?



いよいよ人間用のエレベーターで地下50mへ。エレベーターの中から真下も見え、あまりの深さにゾゾッとする。

心なしか空気までもヒンヤリ感じる。地下に到着しドアが開くと、そこはもう高速道路のトンネルだ。車両用のエレベーターもあるので、こんな地下に大型トラックが置かれているのだが、やっぱり不思議だ。トンネル内の工事作業者のために空気を送る大きなダクトが天井から吊り下げられている。また、シールドマシンで削った土を運ぶベルトコンベアも。そして地上で見たセグメントは、まさにトンネルの外壁となっていた。



現在、東名側からスタートした本線のシールドマシンは、調布市内で発生した陥没事故のためストップしているが、東名JCTでは外環道と東名高速道を接続するランプ工事やシールドトンネルの掘進作業も進められており、こちらでも2機のシールドマシンが進んでいるとのこと。環ハの渋滞解消と時間短縮という円滑な交通ネットワークの実現にはもう少し時間がかかりそうだが、私たちのまちにとって、どのような意味があるのか、また在り方についてじっくり考えたいと思う。



*視察会は不定期に行われており、次回開催は未定。工事については、「東京外環プロジェクト」と検索すれば詳細が掲載されており、閲覧も可能です。

鎌田区民センターまつり

6月15・16日の2日間にわたり開催されました。25団体が舞台上で日頃の活動を発表。他、ゲームや作品の展示など館内のあちこちで楽しむことができました！



式根島からも応援 大人の風格のフラ



キレッキレのヒップホップダンス 元気いっぱい



昔懐かしいチンドン太鼓で 各展示物もにぎやかに みんな笑顔



平均68歳のジャズメンたち 演奏が板についていました



高校生によるお茶席



オープニングは喜多見楽友会の里神楽



青少年喜多見地区委員会主催



ボウリング大会・懇親会開催！



3月16日（土）、10時から世田谷オークラボウルでボウリング大会が行われました。小学6年生から高校生までの子どもたち43人が参加。

高らかに開会宣言の後、1レーン4人でチームとなり熱戦が繰り広げられました。初めてボールを持つお子さんもいて、ピンまで届くのも至難の業。「みぞそうじ」も度々、それでもストライクやスパアが出るとみんなで大拍手。得意げな顔や悔しそうな顔があちこちで見られ、楽しいひと時でした。



全員スピーチの後は、残った景品をかけて 荒川会長(中央)とじゃんけんぽん！



午後から場所を移動し、喜多見東地区会館にて表彰式と懇親会を行いました。優勝チームや個人賞など各賞が発表され、あちこちで歓声が上がりました。

最後に、会場に集った大人や子ども、スタッフ含めた全員が、一言スピーチします。今回の発表テーマは「今年挑戦すること」。まさに新年度を迎える時に、それぞれが自身の目標や挑戦したいことを言葉にするという企画に感動でした！どうか充実した素晴らしい一年でありますように…



赤ちゃんふれあい体験授業



取材に伺ったこの日は、午後3か月半から1歳4か月の赤ちゃんとお母さん6組のボランティア親子が参加されました。始めにスタッフから生徒たちに、赤ちゃんとの接し方、声の大きさや抱っこするときの注意点、赤ちゃんの仲良くなるポイントなどを説明します。その次に人形を使って抱っこの練習をします。

本番、実際に抱き終わったら生徒に感想を聞くと、



世田谷区 平成30年度子どもの生活実態調査では、「小中学校の子どもたちの約40%が赤ちゃんを抱っこしたことがない」そうです



最後にスタッフから「みんなたくさん人の関わりの中で大切にしてもらって大きくなる。苦しい時、辛い時、色んな人に手伝ってもらってほしい。相談できる人をたくさん作ってほしい。自分のことを助けると言える人になつてください」と、赤ちゃんを通して命の大切さを学ぶ授業でもありました。

授業前に校長先生がボランティア親子さんに「生徒たちの心にこの体験が刻まれる。授業の前と後では生徒が確実に変わる。すごく良い授業だ」と話されていました。小さくとも重い命が、思春期の子どもの心に触れるのでしょう。



「あたたかかった」と返答。また、ある生徒は「こういう時が一番かわいいですか？」と質問し、「やっぱり笑っている時かな。でもどんな時も可愛いよ！」とお母さんが答えられ、生徒たちの表情が変わりました。